

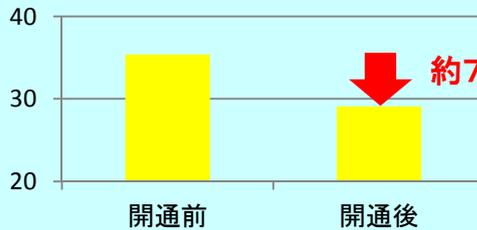
東九州自動車道は「命の道」 ～暮らし・医療を支え地域を守る～

佐伯市蒲江地域から第二次救急医療施設への搬送時間が短縮

- ・ 佐伯～蒲江間の開通により、救急搬送時間が**約7分短縮**となり、**30分以内の搬送も可能**になった。また、搬送時の走行性が向上し、**患者の負担が軽減**された。



平均搬送時間の変化 (出典: 佐伯市)



- ・ 時間短縮ができ、帰署までの時短により次の出動態勢が早くとれる
- ・ 峠やカーブが少ないため、隊員が車内での患者への処置が行いやすい
- ・ 峠やカーブが少ないため、患者の負担が大きく軽減されている。

▲佐伯市消防署の声(出典: 佐伯市)

緊急連絡路の設置で集落の孤立化解消

- ・ リアス式海岸のため台風等による越波で通行止が発生。
- ・ 南海トラフ巨大地震の津波で、唯一の県道が被災し通行止になることで、孤立集落の発生が懸念。
- ・ 東九州自動車道に**緊急連絡路**を設けたことで、**災害時の避難経路・輸送経路が確保**された。



古江丸市尾線越波状況



丸市尾地区緊急連絡路



県境を越えて医師の派遣が可能に

- ・ 近年宮崎県延岡市には神経内科の専門医がいなかったため、患者は専門医のいる宮崎県宮崎市や大分県佐伯市まで診察・治療を受けに行っていた。
- ・ 東九州自動車道の開通により、**大分大学から医師の派遣が可能**となり、**延岡市内に神経内科の外来が復活**し、**患者の負担も軽減**された。



(参考) 神経内科
脳梗塞や認知症、パーキンソン病など、脳・神経・筋肉の異常を診る専門科